

六ノ二三一 笠置寺一千日舍利講仏供事

出典 弥勒如来感応抄（東大寺蔵）

解説 貞慶が建久七年四月十四日に行つた舍利講の奉唱文である。

原文

一千日舍利講仏供事 毎日十杯
合三升

右釈迦大師遺身舍利於補処慈尊御前欲展供養蓋眞報仏恩也若捧少供必為見仏聞法發心得道之勝因矣仍奉唱如件

読み下し文

笠置寺一千日舍利講仏供之事 毎日十杯 合三升

右釈迦大師の遺身たる舍利を補処の慈尊の御前に於いて展べ供養せんと欲す。蓋し眞に仏恩に報ぜんとする也。少供を捧ぐ若きも必ず見仏聞法と為り、發心得道の勝因なり。仍つて奉唱件の如し。

建久七年（一一九六年）四月十四日 沙門貞慶